

日本脳炎ワクチンの説明書

商品名: ジェービックV

■日本脳炎について

日本脳炎ウイルスによる急性脳症です。初期症状は突然の発熱、頭痛、嘔吐などです。死亡率は20～30%で、生存しても30～50%で神経症状が残ります。ただし、大多数は無症状で、症状を呈するのは1%未満です。

■流行地域

中国、東南アジア、インドにかけて広く分布しています。日本ではワクチン接種によって患者は著しく減少しました。

■感染経路

豚の体内で増加したウイルスを蚊(コガタアカイエカ)が吸血し、その蚊がヒトを刺すと感染します。コガタアカイエカは夜行性です。ヒトからヒトへは感染しません。

■診断と治療

- ・髄液や血清での抗体価上昇から診断します。
- ・特異的な治療はなく、対症療法のみです。

■予防方法

- ・蚊に刺されないようにする。家畜には近づかないようにする。
- ・ワクチンを接種する。

■接種対象者

- ・定期接種を受けていない人。
- ・ワクチン接種から5年以上経過している人。日本も北海道以外は流行地域です！
- ・流行地域(中国・東南アジア・インド)に滞在する人。

■ワクチンについて

- ・日本脳炎ワクチンは国内ワクチンです。
- ・過去に副反応として急性散在性脳脊髄炎が危惧され、定期接種が中止されましたが、2010年4月から新しいワクチンになり、定期接種も再開されています。

	ジェービックV(国内ワクチン)
【製造会社】	阪大微生物病研究会
【適応年齢】	3歳未満:0.25ml 3歳以上:0.5ml
【接種回数】	3回接種。
【スケジュール】	初回と1ヶ月後と1年後。
【接種方法】	皮下注射。
【持続期間】	5年間。

■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、妊娠・授乳中、発熱している方は接種できません。

■健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。